

## 実績確認概要書

平成 26 年 9 月 17 日  
ビューローベリタスジャパン株式会社

### 1. 排出削減事業の概要

排出削減事業名	A 重油ボイラから国産間伐材を利用した木質バイオマスボイラへの更新プロジェクト
承認番号	KC0354
排出削減事業者名	株式会社アマタケ
排出削減共同実施事業者名	株式会社 FT カーボン (その他関連事業者名：株式会社テス東北)
事業実施場所	細野農場 (住所：岩手県大船渡市立根町字細野 17-3)
事業の概要	A 重油ボイラ 3 台を木質バイオマスボイラ 3 台へ更新する。バイオマスへのエネルギー転換によって、CO2 排出量を削減する。
排出削減量の計画	2010 年度 428tCO2/年 2011～2017 年度 735 tCO2/年 2018 年度 289 tCO2/年 (事業実施期間合計 5,862tCO2)
クレジット認証期間	事業開始日：2010 年 8 月 23 日 終了予定日：2018 年 8 月 22 日
排出削減方法論	方法論番号 001 「ボイラーの更新」

### 2. 本実績確認の対象期間

2013 年 4 月 1 日 ～ 2014 年 7 月 31 日 (第 5 回目実績報告)

### 3. 実績確認結果

本実績報告期間における排出削減量は、承認排出削減事業計画に従ってモニタリングされた結果に基づき算定されており適正である。

排出削減量	1,307tCO2
-------	-----------

(2013年4月1日～2014年7月31日)

#### 4. 実施した実績確認手続きの概要

以下の実績確認手続きにより、報告された排出削減量に重大な誤りがないことを確認している。

要件	実績確認手続き
排出削減量が承認排出削減計画に従って実施した結果生じていること	<p>1) 開始日の確認（初回実績確認の場合） 第5回目実績確認のため、該当なし。</p> <p>2) 対象期間中の設備稼働確認 承認排出削減事業計画に従い事業が実施され、木質ペレットボイラーが実績確認期間中、継続的に稼働していることを、審査関係者への質問、ボイラーの燃料使用量、ボイラーの使用実績等により確認した。</p> <p>その他、本事業に承認排出削減事業計画から重要な変更がないことを確認した。</p>
排出削減量が承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されていること	<p>排出削減量は、承認排出削減事業計画に従って当該計画を実施した結果生じていることを確認した。</p> <p>1) モニタリング方法の確認 審査関係者への質問、木質チップ購買量の確認、木質チップ分析データの確認等により、承認排出削減事業計画通り、モニタリングが実施されていることを確認していた。</p> <p>2) 活動量の正確性 活動量は使用していない。 また、木質ペレット使用記録、木質チップ分析データの確認等により、承認排出削減事業計画通り、エネルギー使用量等が報告期間中にわたり適切に把握され、正確に集計され、適切に保存されていることを確認した。</p> <p>3) 単位発熱量、排出係数等の係数の確認 使用されている単位発熱量、排出係数等が、Jクレジット制度モニタリング・算定規定（別表）及び承認排出削減計画に従っていることを確認した。</p>

	<p>4) 排出削減量算定方法及び算定結果の確認</p> <p>事業実施後排出量、ベースライン排出量は、方法論及び承認排出削減事業計画に従って適切に計算され、算定結果は正確であることを確認した。また、リーケージ排出量について、排出削減量の 5%未満であり、算定対象外であることを確認した。</p>
<p>算定期間がクレジット認証期間の終了日を超えないこと</p>	<p>本実績確認の対象期間は、2013年4月1日から2014年7月31日までであり、排出削減量を算定した期間がクレジット認証期間の終了日である2018年8月22日を超えないことを確認した。</p>

5. 承認排出削減事業計画からの重要な変更点についての評価（該当する場合）  
該当なし

6. 特記事項

モニタリング期間における再生可能エネルギー利用量 19,159GJ であることを確認した。

以上